

平成 30 年 8 月

広島ガスプロパン株式会社

原料費調整制度の変更についてのお知らせ

日頃より広島ガスプロパンをご利用いただきまして誠にありがとうございます。

さて、国内のLPガスの輸入につきましては、従来の調達先である中東産に加え、米国からの輸入量が増加する傾向にあります。これはシェールガス採取に伴うLPガスの増産や、新パナマ運河開通による輸送日数の短縮等を背景に、米国産LPガスの輸出環境が向上したことによるものです。こうした米国産LPガスの輸出量増加は、中東産への牽制となり、日本国内のLPG調達の安定化へと作用します。

このような環境の下、当社ではこれまで貿易統計におけるLPガスの数量および価格の変動を反映したガス料金の調整を行ってまいりましたが、LPガス輸入環境の変化により、下記のとおり、平成30年9月使用量分（10月検針分）より中東産LPガスおよび米国産LPガスの原料価格に基づく調整制度に変更させていただきます。

なお、この度の原料費調整制度の変更による基準平均原料価格およびガス料金（基本料金、基準単位料金）の変更はございませんので、併せてお知らせいたします。

今後とも皆様のご期待に応えるようサービスの向上と安定供給に努めてまいりますので、変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

記

原料費調整条項の変更について

【基準平均原料価格（トン当たり）】

76,820円 *変更はございません。

【平均原料価格の算定（円／トン）変更前】

平均原料価格 = 3か月間における貿易統計の数量および価格から算定したトン当たりプロパン平均価格



【平均原料価格の算定（円／トン）変更後】

平均原料価格 = 前々月と前月の中東産原料価格[CP※1]の平均値 × 為替レート[TTS※2] × 0.70
+
(前々月の米国産原料価格[MB※3] + 米国産物流経費:105\$ ※4) × 為替レート × 0.30
+
前月の輸送運賃(中東フレート)※5

*算定結果の10円未満は四捨五入

—裏面をご覧ください—

※1 CP

CP (Contract Price = 通告価格) とは、サウジアラビア国営石油会社であるサウジアラムコ社が 1994 年 10 月から導入した LP ガスの政府公式販売価格 (サウジアラビア積み出し価格) です。

※2 TTS

TTS (Telegraphic Transfer Selling rate = 対顧客電信売相場) とは、円を外貨に交換するときに適用される為替レートのことです。

前々月 1 日～末日までの三菱 UFJ 銀行が公表する平均 TTS を使用します。

※3 MB

MB (Mont Belvieu=モントベルビュー) とは、アメリカ・テキサス州モントベルビュー市場での LP ガス取引価格であり、ヒューストンから輸出される LP ガス価格の指標となっています。

※4 米国産物流経費

米国産物流経費とはパナマ運河通峡料、ターミナルフィー、中東地域・北米地域との差額フレート等が含まれています。

※5 輸送運賃 (中東フレート) とは

中東から日本に輸入する輸送運賃のことです。

【原料価格変動額を算定 (円/トン) *変更はございません。】

イ 平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき

原料価格変動額 = 平均原料価格 - 基準平均原料価格

ロ 平均原料価格が基準平均原料価格未満のとき

原料価格変動額 = 基準平均原料価格 - 平均原料価格

※算定結果の 100 円未満の端数を切り捨てた 100 円単位の金額といたします。

【調整額の算定 (円/トン) *変更はございません。】

イ 平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき

調整単位料金 (1立方メートル当たり)

= 基準単位料金 + 0.210円 × 原料価格変動額 / 100円 × (1+消費税率)

ロ 平均原料価格が基準平均原料価格未満のとき

調整単位料金 (1立方メートル当たり)

= 基準単位料金 - 0.210円 × 原料価格変動額 / 100円 × (1+消費税率)

*小数点第 3 位以下の端数は切り捨てます。この調整額が従量料金単価 (税込) に反映されます。

以上

(お問合せ先)

広島ガスプロパン株式会社

家庭用ガス部 コミュニティーガス課

連絡先 (082) 830-0870

受付時間 9:00~17:00 (土・日・祝日を除く)